



松井田高校ラベンダー物語



松高の初夏の香り

6月、ラベンダーの花が花壇を美しく飾ります。

平成14年11月にはじめてラベンダーの株を植え付けたことが始まりです。翌年5月にはさらに生徒有志により約100株を植え付け、松高の新しい名物となりました。当初は、地域づくりに取り組む「ハーブタウン松井田の会」の協力を得て、ラベンダーの植栽をとおした「人に優しい」環境整備、スクールアイデンティティづくりに取り組んでいました。摘み取った花は、ドライフラワーとして卒業生へプレゼントしていました。

一時期玄関前だけになってしまったラベンダーでしたが、平成30年、職員の手で育てられていた株を元に復活することができました。令和元年、生徒と職員のボランティアでラベンダーの苗を育てることが始まりました。生徒が摘み取った花は、ドライフラワー、ラベンダースティック、ポプリとして校舎内に飾ります。ラベンダースティック作りに参加した生徒は家庭へのプレゼントとして持ち帰りました。



ラベンダーの効能

ラベンダーはわが国で作られるハーブの中で代表的なものです。このシソ科の植物は上品な紫の色（ラベンダーブルー）と、その落ち着いた香りが特徴です。

ラベンダーには鎮静作用があり、ストレスでこわばった心身をリラックスさせ、不安や緊張、イライラなどを和らげてくれる働きがあると言われています。この時期に本校を訪れた際には、「癒やし」の効果があると言われているラベンダーの香りを楽しんでみてください。

<平成30年度 MVC通信より>



再び松高にラベンダーが咲くようになりました。かつてラベンダーは松高の象徴と言えるほど咲き誇っていましたが、花を咲かせなくなったために数年前に老木を切り、新たに先生宅で育てた苗を植えて現在のようになっています。

